

読む人の幸せを心に願って作る

喜びのタネまき新聞

No.
626

〈緊張することで成長できる〉

ダスキンでは、毎年6月に株主総会を開催します。年に一度、株主の皆様にご社の業績などを報告し、直接ご意見やご質問をお伺いできる貴重な機会です。

株主総会の準備は1カ月以上前から始まり、株主の皆様に分かりやすく説明できるよう、そしてご質問に的確にお答えできるよう確認していきます。そうして当日を迎えるのですが、株主総会が終わるまではとても緊張する時間となります。

今年の株主総会は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年より出席者が少なく、一名様のご意見で終了しました。考え方によっては、議案が全体的に承認され、短時間で終了した方がよいのかもしれませんが、私は、株主の皆様から多くのご意見やご質問をいただくことで視野が広がり、緊張しながらもお答えすることは成長につながるチャンスだと感じています。

私は緊張する場面では、それまで準備してきたことをしっかりと実行することだけを考えます。失敗を恐れずにチャレンジすることで、新たな自分を発見することもあります。チャレンジしなければ失敗することはありませんが、成長することはありません。

誰しも緊張することから逃げたくなるものです。しかし、緊張することは成長につながると捉え、これからもチャレンジし続けたいと思います。



富山県

朝日町のヒスイ海岸

※イラストはイメージです

株式会社ダスキン社長

山村輝治



越翡翠硝子の柔らかな3色(白緑・紫苑・青磁)と、越碧硝子の深い青は富山独自の色



工房に隣接する富山ガラス造形研究所には、国内外から多くの人が学びに集まる



体験教室では自分で形や色をデザインできる上、作家がサポートしてくれる



ガラスで立山連峰が描かれた橋の欄干。街のいたるところでアートに出合える



雄大な自然のもとで
凜とした輝きを放つ

富山ガラス

人づくりから始まった
ガラスの街

富山湾と立山連峰に抱かれた富山県。越中富山の売薬¹とともに、薬に欠かせないパッケージなど関連のものづくりが発展し、ガラスの薬瓶製造も明治・大正期には全国トップシェアを誇りました。戦前には、富山駅周辺を中心として溶解炉を持つガラス工場が10社以上も建ち並んでいたそうです。

こうした歴史を背景に、今、富山市では「ガラスの街づくり」が行われています。特徴的なのは、人づくりから始まったこと。1985年に市民大学にガ²

を志す人々が集まるようになったのです。2015年には富山市ガラス美術館も開館し、富山市はガラスの街として知られるようになりました。富山ガラス工場の館長であり、街づくりの旗振り役を担ってきた野田雄一³さんは「ガラスを見て、学び、創作できる環境がここまで整っている場所は、世界でもあまり他にないと思います」と語ります。

物語が吹きこまれ
多彩に輝く

プロの作家に限らず、富山ガラスは一般市民にとっても身近な存在です。街のいたるところでガラスアートが景観にとけ込み、地元の小学校では卒業記念にガラスのペーパーウェイトを制作する授業が行われています。また、選択科目にガラス工芸を取り入れた高校もあるのだとか。

富山ガラス工房でも、一般向けの体験教室が開かれています。参加者の数は、なんと年間1万2千人。お正月やひな祭りなど季節ごとに飾り物を親子で作りに来たり、町内会の集まりで定期的に通ったりと、一度体験すると何度も足を運ぶ人が多いそうです。また、結婚式の引き出物などを依頼しに工房を訪れる人も。作家と相談しながらオリジナルを作ってもらえるため、作品に物語が吹きこまれるのも富山ガラスの魅力です。

さらに近年話題となっているのが、オリジナルの色ガラス。一般



翡翠を用いた越翡翠硝子と、富山湾の深い藍色を表現した越碧硝子。総称して「富山曼荼羅彩(とやまんだらさい)」と呼ばれる



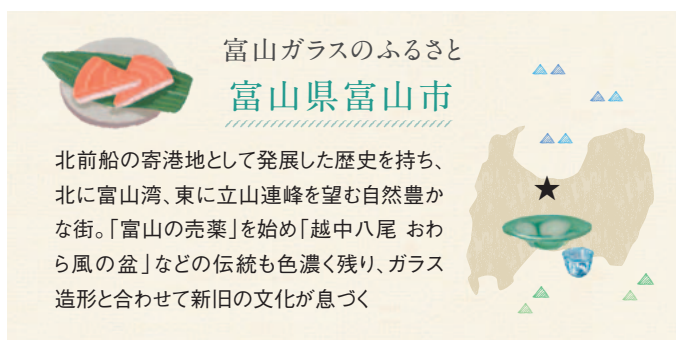
“越中富山の売薬”とともに薬瓶製造技術も発展した
写真提供：北陸硝子工業株式会社

ラス工芸コースが開講し、91年には全国初の公立の専門教育機関として「富山ガラス造形研究所」が設立されました。さらに9年には制作の場として「富山ガラス工房」がオープン。駆け出しのガラス作家を支援するために、共同で使える溶解炉や設備を整えたことで、全国から作家⁴

的に、ガラスは原材料の違いで地域性を出すことはほとんどできなそうですが、県東部で採れる翡翠を織り混ぜた、越翡翠^{かみず}硝子^{このひやうす}と、富山湾をイメージした深い青の、越碧硝子^{このあおがらす}は、富山ならではの色ガラスとして注目を集めています。

野田さんは、「まずは多くの人に、富山にはガラスがあることを知ってもらいたい。そして、ガラスをきっかけに多くの人に集まってもらえれば、人が集まればエネルギーが生まれて、街も活気づきますからね」と話してくれました。

街の文化産業として、発展を続ける富山ガラス。日用品からアート作品まで多様な姿で見る人を惹きつけながら、ある時はキラキラとまばゆく輝き、またある時は柔らかな光をまといます。その美しさは、何度でも足を運びたくなる富山の魅力を表しているかのようでした。



富山ガラスのふるさと 富山県富山市

北前船の寄港地として発展した歴史を持ち、北に富山湾、東に立山連峰を望む自然豊かな街。「富山の売薬」を始め「越中八尾 おわら風の盆」などの伝統も色濃く残り、ガラス造形と合わせて新旧の文化が息づく

台所の相談室

秋の足音が聞こえてきました。季節の食材は下処理がつきものですが、コツをつかめば、ぐっと簡単に。旬のホクホクを味わいましょう。

FILE 10

渋皮は残っていても大丈夫。
コツを覚えれば、お手軽です。

栗のむき方は、コツさえつかんでしまえば簡単です。ただ、こういう作業は慣れた頃に終わってしまうものなので、ぜひ一度きりで終わらせずに、旬のうちに何度かむいてみてください。手が覚えたら、来年以降も楽々です。まず栗を選ぶ際は、皮につやがあり、どつしりと重いものがないですね。買ってすぐに作業ができない時は冷蔵庫に入れて冷やしておきます。そうすると栗が寒さに耐えるために甘みを蓄えると、栗農家さんに教えていただきました。とはいえ、長い間放置しておくとも味が落ちてしまいますので、気を付けて。

こうすると栗が小さくなってしまふことも多いですし、渋皮の色がごはんに移った方が、色よく仕上がります。米にもち米を合わせて炊くと、もち米の粘りが栗を包み込んでくれるので、栗とごはんが別々にならずによくなじみ、冷めてもパサつきません。我が家では多めに炊いて、炊きたてを冷凍し、何度か栗ごはんを楽しめます。



ひだかずを
飛田 和緒さん
料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『いちばんおいしい野菜の食べ方』（オレンジページ）を始め、著書多数。

今回のレシピは醤油味にしています。ごはんの色が付きますので、渋皮は多少残っていても大丈夫。きれいにむく必要はありません。あまりきれいにむ



栗ごはん



Answer Recipe

材料(4人分)

- 栗 500g
 - 米 1合半
 - もち米 1/2合
 - A { 醤油 大さじ1
 - 酒 大さじ1
 - 塩 小さじ1/2
- ※栗は、皮を除いて正味300gくらい

作り方

- 1 米ともち米と一緒に研ぎ、ざるにあげる。炊飯器に入れて、2合の目盛りに水を加え、1時間ほど浸水させる。
- 2 栗は熱湯に15分ほど浸け、皮をむく。中の渋皮はところどころ残してむき、筋は取り除いて、水に15分浸ける。
- 3 浸水させた米にAを合わせてひと混ぜし、水気を切った栗をのせて、普段通りに炊く。
- 4 じゅうぶん蒸らしたら、混ぜる。

飛田さんってほんとにま



栗はむく前に熱湯に浸け、外側の鬼皮を柔らかくします。ざらりとした下の部分を薄く切り、そこから皮をめくるように包丁でむくとスムーズ。むいている間に湯が冷めたら、熱い湯を足します。冷めてしまうと鬼皮はもちろん、中の渋皮も硬くなるので、渋皮も湯でふやけた状態にしたほうがむきやすいです。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとしたお悩みを、飛田さんに相談してみませんか？ お便りをお待ちしています。宛先は裏表紙をご覧ください。





千羽鶴

北海道函館市 高野 真理子さん



私は、長年アメリカのご夫婦と文通をしています。ご主人が体調を崩されてからはしばらく中断していましたが、1年ほど前から奥様との文通を再開し、今では娘さんとメールでのやりとりもしています。

すると先日、「ご自宅に飾られた千羽鶴の写真が送られてきました。その千羽鶴は、以前私がお家族のご快復を祈って折り、送ったもの。まだ飾ってくださっていたなんて！」と驚き、感激しました。

新型コロナウイルスで世界的に暗いニュースが続いていますが、どうかお互い無事でありませうように。心の中にポツと灯りがともったようでした。

感動的なお話に、胸が熱くなりました。これからもずっと続けてください。

敬老の日のプレゼント

岡山県岡山市 片岡 洋子さん



敬老の日に、素敵なプレゼントをもらいました。

孫のすずかちゃんのお手製ミルクティーと、ママの手作りケーキ。どちらも気持ちがこもっていて、おいしく味わいました。

さらに、「いつも、おいしいごはんをありがとう！これからもよろしくね」と書かれた手紙まで！「おいしいごはん」と言ってくれたことも、とてもうれしかったです。

大切なプレゼントをもらって、幸せいっぱい敬老の日。私にとっても主人にとっても、忘れられない思い出となりました。

愛情たっぷりのプレゼントですね！こちらまで幸せな気持ちになりました。

山ガール

東京都青梅市 吉田 久美子さん



日々の疲れを癒そうと、友人と二人で日帰り弾丸ツアーに行ってきた。

行き先は、山形県の月山。若かりし日に戻った気分で行った名曲を口ずさみながら、八合目まで登りました。70歳を過ぎた私たちも、気持ちはいつまでも「山ガール」。二人揃って、大自然からたくさんエネルギーをもらい、明日からの活力を得たのでした。

八合目まで登山とは、すごい！景色も気分も最高だったでしょうね。

手作りマスク

三重県津市 多羅尾 恵三子さん



新型コロナウイルスの感染拡大防止で、外出自粛中だった時のこと。家にいる時間が増えたので、マスクをせっせと手作りして、遠方に住む娘家族に送りました。

数日後、娘からお礼とともに「子どもがマスクをつけた途端、おばあちゃんのおいがする、と言ってたよ」とうれしい連絡が届きました。心が温かくなり、おうち時間も前向きに過ごせそうだと思いました。

心のこもった手作りマスクはお孫さんのお気に入りのはず！

保護猫たち

埼玉県東松山市 関川 邦子さん



ある日、2匹の子猫を連れた野良猫が我が家にやって来ました。私はすぐさま保護して、里親を募集。幸い、里親さんたちが無事に見つかり、ほっと胸をなでおろしました。

すると驚いたことに、それぞれの里親さん宅で飼っておられる先住猫や犬の名前が、我が家の愛猫たちと同じ名前だったのです。こんな偶然があるなんて！

その後、たまに送っていただく動画や写真で幸せそうな猫たちの姿を見ては「保護して良かったなあ」と思い、心が和んでいます。

優しい方に保護され、里親さんにも愛されて、幸運な猫ちゃんたちですね。

心優しい母

長野県安曇野市 北原 敬子さん



一人暮らしをしている母と、毎日のように電話で話しています。「いつもでも元気できてね」と私が言う、母はいつも「カルシウムも摂ってね」「これは身体にいいんだって」と反対に私の身体を気遣ってくれるのです。

母にとっては、娘との会話が元気の源になればと思いつつ、親のありがたさを実感しています。

感謝の気持ちは、伝わっているはず。お二人とも元気にお過ごしください。

時には、おしゃれも

燈々無尽

着かざる事も忘れて夢中で働くのも美しい。けれど時には仕事を一切忘れてしみじみ生きている事のありがたさを味わうのもよい。

そんなお金もなければ身だしなみを清潔に美しくしてみる事だ。今の時代は生活を楽しみながら働くことだ。

ダスキン創業者 鈴木清一

愛の輪通信

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業 第21期研修生 アリ・トミー・ヘーゼルマンさん(全言)

日本語を勉強して自分で書きました。ぜひ読んでください！



日本に来てびっくりしたのは、点字ブロックです。点字ブロックがあれば視覚障がい者も一人で道を探せるため、とても大切なものです。私はいつも「点字ブロックは、足の手すり」という言葉を使って、点字ブロックのことを紹介しています。さらに日本では、たくさん音や音声サポートがあり、階段のところからは鳥の音が「これは階段ですよ」と教えてくれます。私は目が見えないので、音や音声の情報はとても助かります。

それから、電車にもびっくりしました。毎日、電車の中は人がいっぱいいて、座る席がなかったです。



愛の輪は、日本とアジア太平洋の地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎ 06-6821-5270 🌐 <https://www.ainowa.jp/>



あなたのお便りや写真をお寄せください。

皆様からお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



ヤマボウシの実、見つけ♪



宮城県
仙台市
佐々木
かおるさん

4人揃って記念撮影!



島根県
雲南市
石飛
美和子さん



読者の皆様からお送りいただいた
素敵な1枚をご紹介します。

仲良しコンビです



兵庫県
赤穂市
田中
知代さん

お祭りに行ったよ♪



福岡県
筑紫野市
杉山
弘美さん

おでかけ日和!



茨城県
水戸市
石川
洋子さん

産まれたよ!のピース



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!
引越しのお手続きは、担当店・Webページ
ダスキンコンタクトセンター 0120-100100 まで



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp

59-7C 2020.9 3501000